

りょう

ふう

# 涼風



頭の病気で倒れないために

No.11 : 2002年秋号

医療法人社団 涼風会

佐藤脳神経外科



## 痴呆への取り組み

秋の気配がちょっと感じられる此の頃です。みなみなさま、まだまだの暑さにめげず、元気に過ごされていますか？

今回は、痴呆（ボケ）についてざっくばらんにお話します。痴呆って、できることなら避けて通りたいところですが、実際なかなかそういう訳にもいきません。痴呆は最高の高等動物である人間ゆえの宿命・終焉のひとつかもしれません。と言うのも、痴呆の90%は病気ではなく、廃用性による脳機能の弱体化です。ちょうど、使わない筋肉が衰えるように、一週間でも寝込んでしまうと足腰弱りますからね。その意味で、ちょっと思い出せない物忘れが痴呆ではありません。痴呆の本質は、考える脳、前頭葉に始まる一連の脳機能を使わないがために起こる知能の衰退・喪失だと考えます。年のせいや人のせいではなくて、変わり映えのしない“ぐーたら生活”を続けた結果、年齢に関係なく年期とともに痴呆はやってきます。

使わないがゆえの痴呆を解決するには、脳を使ってや

ればいいことになりますね。じゃあ、どうやって脳を使えばいいんでしょうか。脳卒中後遺症で手足の麻痺など身体機能障害を持つ人は、一生懸命リハビリをします。痴呆は、身体ではなく知的脳機能の後遺障害です。だとしたら、痴呆に対しては脳を活性化する積極的リハビリが必要となります。小ボケの人の脳リハビリは自分ひとりで自主トレが出来るし、家族や友人と一緒にあれこれする中で解消してゆける場合もあります。しかし、ある程度の中ボケ・大ボケの人には、各人それぞれに見合った専門的な脳活性化リハビリが必要です。

これからの中高齢化社会のなか、医療法人社団涼風会は、痴呆の予防さらに痴呆の改善に、試行錯誤取り組んでゆきます。そのために、外来診療や専門療法士による医学的リハビリだけでなく、デイケア・デイサービスでの通所リハビリ、グループホームでの生活・介護支援を通して、脳の活性化リハビリを動機付けとして、痴呆に対して総合的にアプローチしたいと考えています。

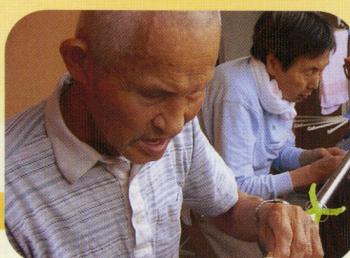
医療法人社団 涼風会  
**佐藤脳神経外科**  
〒729-0104 福山市松永町5-23-23  
tel 084-934-9911 fax 934-9910



- ♪脳神経外科・神経内科
- 放射線科・リハビリテーション科
- ♪通所リハビリ デイケア 帆かけ舟
- ♪脳ドックセンター “3次元立体写真館”

### 涼風会メニューのご紹介 ⑥

## グループホーム“敬愛”



痴呆を持ちながらも、地域社会のなかで、これまでの日常生活を続けるために、“ひとりひとりの生活の場”グループホームを、松永の市街地中心部に開設しました。経験のある医療・介護スタッフが入居者ひとりひとりのケアに密接にかかわることで、生活の場を通して脳機能の活性化を図ります。日々の生活、レクリエーションを楽しみながら、痴呆の進行を予防する、家庭と同等の生活環境を整えた介護施設として、スタッフ一同頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

